

第3A (小) 分科会 —教育環境整備に関する課題—

提案主題 主体性を育むための環境づくり

司会者	宇佐市立糸口小学校	小屋瀬	八重子
提言者	宇佐市立北馬城小学校	水脇	純一
助言者	宇佐市立深見小学校校長	金光	隆生
記録者	宇佐市立長洲小学校	安部	友貴美

1 協議の柱

- ・組織の活性化や教育活動の改善に向け教頭としての役割は、どうあればよいか。

2 協議の実際

- (1) ミドルリーダーの役割は、どうあればよいか。
 - ・主幹教諭，指導教諭，教務，分掌主任等に位置づけ各々の役割を明確にして機能させていくことで，学校規模にかかわらず組織として活性化していくことができる。
 - ・主幹教諭には，教諭への指導助言ができるように，教頭がアドバイスをしていくことが必要である。
 - ・先輩の教諭にやりがいのある役割をもたせ，後輩の指導にあたらせることでモチベーションを上げるようにしていくことで，組織の活性化につなげる。
- (2) 目標を共有し達成していくためのPDCAをすすめていく中で，教頭は何をすべきか。
 - ・4点セットの取り組みと組織体制づくりをしっかりと関連づけて進めることが大事である。
 - ・各分掌主任に責任をもたせ，短期サイクルでの見通しをもった取り組みができるようにするために，教頭は教務と各分掌主任との連携がスムーズに進むよう働きかけることが必要である。
- (3) 各種委員会の組織の仕方は，多すぎないか。
 - ・各種委員会は，分掌と関連しており，年間を通して計画的な開催が望ましい。
 - ・いつどんなときでも対応できるよう体制づくりをしておくことが必要である。

3 指導助言

- ・年度当初，前任者や前年度からいるミドルリーダー・地域の声等を聴き，できるだけ多くの情報を収集して組織づくりをすすめることが大事である。
- ・それぞれの学校の強みと弱みを十分把握し，校長と共有した上で課題を解決していくためのより効果的な組織づくりをすることも必要である。そうすることで，重点目標・重点的な取組・取組指標と関わった各分掌主任（ミドルリーダー）を中心とする組織づくりとなる。
- ・教頭が校長としっかりつながる～教頭が主幹教諭や教務主任としっかりつながる～主幹教諭や教務主任が各分掌主任としっかりつながるよう教頭が指導する～各主任が各教諭等としっかりつながるよう主幹や教務の働きを教頭が把握し指導・支援する～といった「学校のコーディネーター」役をいかに教頭が務めるかが要である。